

〈支援企業を訪問しました〉

## 株式会社 アースダンボール 殿

「笑顔で明るい挨拶運動！ 会社がおおしく変わる」

(株)アースダンボール(奥田敏光社長、伊奈町)は包装用ダンボール専門メーカーで、平成13年に三代目社長に就任した奥田社長は、就任早々従来からの営業方針では同業他社との競争に勝ち抜けないと考えIT活用による通信販売へ着手された。通信販売は多品種小ロット生産で、更に短納期となったことから生産現場の負荷が大きくなった。そこでアブセックへ現場改善の支援を要請し、生産管理見直しや現場改善によって生産リードタイムの短縮を図り、小ロット生産体制を実現し、通信販売への対応が可能になった。

奥田社長の革新的な経営方針から更なる多品種小ロット(1個から受注)生産となり、現場内に少し戸惑いが生じ生産が遅れ気味となりドタバタが発生した。そんな中で奥田社長と問題解決について話し合った結論が「笑顔で明るい挨拶運動！」で「現場を明るく！」という提案であった。その進め方は：

1. 朝から笑顔で挨拶を交わす。
2. お客様にも笑顔で挨拶。
3. 挨拶が上手く出来たらスタンプにサインをもらう。
4. 30人の人々からサインをもらうとスタンプカードを社長へ提示して次のステップのカードへ進む。



奥田社長と打合せ中

その結果、2ヶ月間で目標を達成し、社内が笑顔で明るい挨拶が出来るようになり、お客様からも「社内がいい感じになりましたね」と言われるようになった。

そんな中で現場から営業部門と一緒に印刷に使う版の管理をしたいとの提案があり、早速「小集団活動チーム」を編成した。多品種小ロットのため数千種類の版が現場に在庫されている為に取り出し難く、入れ難い為、生産性を阻害していた。



スタンプカード

さらに現場の声を改善に反映した事により、倉庫の所番地がスッキリし、作業がスルスルラクラク(スル楽)出来るように改善された。これも社内が明るい挨拶運動を展開した成果であると思う。奥田社長も「挨拶運動がこんなに社内を変えるとは思わなかった。良いアドバイス頂いた」と高い評価をされていました。(田村記)



所番地制度を活用した版の在庫管理(改善後)

ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会  
アブセック事務局 TEL 048-773-2391 E-mail [abcec@ageocci.or.jp](mailto:abcec@ageocci.or.jp)